

---

# 北海道創生総合戦略の推進状況

---

※ 本資料は、ウイズコロナにおける北海道創生に向けた取組等を整理した「北海道創生総合戦略に基づくこれまでの主な取組と2020年度の推進方向（2020年7月）」の中から、特徴的な取組を中心に現在の推進状況を整理したものです。

※ 本資料中、「○」と表記した項目は、既の実施しているもの、「・」と表記した項目は、今後実施予定のものです。

**2020年11月**

**北海道**

# 重点戦略プロジェクト設定の枠組み

## ■プロジェクト設定の考え方

- ・地域創生の根幹をなす「まち」「ひと」「しごと」の3本柱とその効果を高める2つの横断的な取組の計5つのプロジェクトを設定
- ・当面の人口減少を前提とし、それに対応できる地域づくりを進め、全国に先んじてこうした課題のあるべき姿を示す



# ①「心豊かに・北海道暮らし」プロジェクト

～ 人口減少下でも心豊かに暮らせる地域づくり ～

## 主な取組の推進状況

### 「新北海道スタイル」安心宣言

～感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指して～  
道民と事業者双方が、感染リスクを低減させる「新しい生活様式」を実践、可視化



北海道らしいライフスタイル、ビジネススタイルとして日常に浸透・定着

- キックオフミーティング（Web会議）を開催  
（経済団体、市町村等6団体参加）
- 「北海道コロナ通知システム」を運用開始  
（9/30現在 導入施設数25,134件）
- 「新北海道スタイル推進協議会」設立（9/30現在 952会員）
- 「新北海道スタイル集中対策期間」（8月～9月）を設定
  - ▶接待を伴う飲食店（すすきの地区）への訪問（511店舗）、ステッカーの配布（50,855店舗）、モデルアクションの選定（店舗3店、テナントビル2棟）など

### 医療提供体制等の充実強化

～今後の感染拡大に備えた医療提供体制等の充実強化～

- 秋冬のインフルエンザ流行を見据え、発熱患者の適切な治療を可能にするため、各医療機関における体制整備を支援
- 感染症患者を受け入れる病室を確保する医療機関に対し、病床区分に応じた支援を実施
  - ・在宅介護をしている家族が感染した場合の在宅要介護者の受入体制整備

～皆様の想いを形に変えて地域医療を守る！～

新型コロナに対応するため、医療従事者等への支援や医療用資機材の整備等を実施（寄附申出総額：R2.9末現在 10.8億円）

【寄附の活用状況】

- 医療従事者等への感謝品の贈呈
  - ・保健所が患者移送に必要な車両の購入
  - ・福祉施設への医療用資機材（マスク、ゴーグル等）の配布



### 子どもの成長や学びの支援

～安心して育てられる環境づくり～

- 保育所等を利用する第2子以降の3歳未満児の保育料を無償化する市町村に対する支援（R2：163市町村）
- 新型コロナウイルス感染症の影響による虐待リスクの懸念などに対応するため、感染症対策を講じた相談支援環境の整備
  - ▶子育てに悩む方のための相談窓口の設置（R2.4～） など



～コロナ禍における教育の推進～

- 臨時休校に係る家庭学習の支援
  - ▶自宅学習を進めるための教科書やノートを使った家庭学習方法を周知
  - ▶「新型コロナウイルス感染症対策に係るリモート学習応急対応マニュアル」を作成
- ICTの活用
  - ▶オンライン学習における機器活用のノウハウと効果的な指導方法を周知
  - ▶「ICT活用授業指針」を策定及び授業モデルの作成を検討



### 広域連携による行政サービスの最適化

～広域連携前進プランの策定～

- 振興局毎に有識者を交え、地域の未来予測を基に今後の社会変化や課題の現れ方、広域連携のあり方について研究する場として「地域課題連携対応研究会」を開催（R2.7～11月）
- 地域課題連携対応研究会の結果を踏まえ、地域課題や市町村連携の方向性や取組の掲載に向け協議中

#### 広域連携推進検討会議

- ▶各（総合）振興局長及び管内市町村長で構成
- ▶振興局毎の広域連携プランに基づく取組状況の進捗確認
- ▶市町村が抱える将来の不安や課題を拾い上げ、事務の共同処理や技術職員の従事などを意見交換  
（R2年度内に各振興局で1回以上開催）

## ② 「磨き高め輝く・北海道価値」プロジェクト

～ 多彩な価値・魅力を活かしたしごとづくり ～

### 主な取組の推進状況

## HOKKAIDO LOVE!



#### 道内旅行商品割引（どうみん割）

感染拡大防止対策に取り組んでいる道内観光事業者への誘客を促進するため、道民を対象とした道内旅行商品を最大半額（上限1万円）割引  
（第1次販売（6/28）、第2次販売（7/10）、第3次販売（7/24））  
（利用実績（7～8月）：約12億円）



#### 教育旅行支援事業

道内外の学校が、北海道内において、貸切バス台数や宿泊部屋数を増やすなどにより、感染リスク低減に配慮して実施する教育旅行を支援

区分	上限額
貸切バス等追加借上支援	1台1日あたり14万円
宿泊部屋数増への支援	1人1泊あたり3千円

#### プレミアム付商品券発行支援事業

「新北海道スタイル」の普及と消費喚起に向けた市町村が発行するプレミアム付商品券に対し支援  
（7/21 補助金募集開始⇒9月中旬商品券販売開始⇒2月商品券利用期間終了）

### 道産食品等の需要喚起

#### ～プレミアム付きどさんこ商品券～

道産食品の消費喚起のため、アンテナショップや百貨店等で利用可能なプレミアム付き商品券の発行やオンライン物産展の開催

- ▶ 期間：R2.9.10～R3.2.12
- ▶ 販売内容：1冊7,000円(1,000円×7枚)を5,000円で販売
- ▶ 取扱店舗：北海道どさんこプラザ及び百貨店



### 農林水産業への支援

- 道内の学校給食を実施する小中学校等（1,743校、41万4千人）に対し、和牛を中心とする道産牛肉（約53ト）を無償で提供するとともに食育活動を実施
  - ▶ 9月末までに、約1,200校、のべ27万人に約12.4トを提供
- 道内の学校給食を実施する小中学校等に対し、ホタテガイなどの道産水産物を無償で提供するとともに食育活動を実施
  - ▶ 小中学校・特別支援学校等780校、のべ22万人へ提供。（9月末時点）
- 公共施設等の木造化・木質化の促進やHOKKAIDO WOODを活用した海外や国内でのPRなど道産木材の需要喚起
  - ▶ （HOKKAIDO WOOD公式HPの多言語化 R2.7）



# ③ 「未来をけん引・北海道人」プロジェクト

## ～ 未来をけん引する人づくり ～

### 主な取組の推進状況

#### これからの北海道をけん引

##### 地域づくりにチャレンジしている 方々のネットワーク化

・業種や地域を越えたネットワークの構築のため「ほっかいどう地域づくりチャレンジャーネットワーク地域づくり交流会」をオンラインで開催（R2:2回実施予定）



##### 北海道若者活躍プロジェクト

○大学等と自治体、産業界が相互に連携・協力し、道内における雇用創出・若者定着を推進（協議会（R2.10月）、参加校10校）

##### キャリア教育・産業教育の推進

- ビジネスマナーや労働法に関わる講義等や、希望する職業についての体験講座を行う「キャリアサポートセミナー」を実施（R2:4回実施予定）
- 全14教育局に配置したキャリアプランニングスーパーバイザーによる、生徒や保護者を対象としたキャリアガイダンスを実施
- 高校生が本道の基幹産業（農林水産業、建設業）を総合的に学ぶインターンシッププログラムの実施（R2.8～）

##### ふるさとの自然環境や歴史、伝統、文化、産業等の理解の促進

- ふるさと教育等の指定校を対象とした実践事例交流会の開催、実践事例のWebページへの掲載
- アイヌの歴史・文化等に関する教材や実践例などの啓発資料「ピラサ」の発行（H19～:29号発行）



#### 様々な分野をけん引

##### 農林漁業を支える人材の育成

- 就業者による本道の農林漁業の仕事や魅力などの紹介、地域の生活情報などを提供するオンラインイベントの開催（R2.10～R3.1:4回実施予定）
  - 企業等の情報を掲載したマッチングサイトによる情報発信、就業先・移住先での就業実習の機会の提供（R2.9:就業実習2回）
- 【北の森づくり専門学院】  
○R2年4月開校（R2:入学者数34名）



##### ものづくり企業等の技術人材の育成

- 技術系人材の育成に向けたセミナー等の開催（R2年度:ゼミ等11回・セミナー5回（今後開催予定を含む））
- ものづくり企業見学会（R2年度7回予定）、出前授業（R2年度2回予定）の実施
- 各種イベントを活用したものづくり産業の魅力PR（サイエンスパーク・ファン(R2.7～8)、No Maps(R2.9)）



#### あらゆる立場・世代がけん引

##### 多様な人材の就業支援

- 「マザーズ・キャリアカフェ」において、女性のライフプランや子育てを踏まえた働き方などの就職カウンセリングを実施（カウンセリング件数:109件(R2.4～9月)）
- 女性・高齢者・障がい者等の新規就業促進・定着に向け、求職希望者の掘り起こしや企業の就業環境整備を行うコーディネーターを派遣

##### 離職者の再就職支援

- 新型コロナウイルスの影響により離職を余儀なくされた労働者の再就職を支援するため、Web企業説明会を道内6圏域で開催（R2.10～12月）



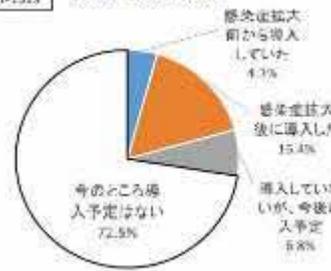
##### 働き方改革の推進

- 新型コロナウイルス感染症の拡大による民間企業等の新しい働き方を把握するため、「道内民間企業におけるテレワーク普及実態調査」の実施



（調査対象 2,001社、回答 1,319社）

n=1,319 テレワークの導入状況



けん引する人づくりを着実に展開  
コロナ禍においても未来の北海道を



# ④ 「北海道らしい関係人口の創出・拡大」プロジェクト

## ～ 北海道を応援するあらゆる人たちの関わり・つながりの創出 ～

### 主な取組の推進状況

北海道への新たな“ひと”・“しごと”の流れを確かなものにする

#### 都市住民向け ～移住・定住の促進、関係人口の創出～

##### ～ウィズコロナに対応した移住・定住の促進～

- 移住等のワンストップ相談窓口 オンライン移住相談窓口を開設  
「はじめの一步！ 初心者のための北海道移住セミナー」をオンラインで開催(R2.9、11)
- ・道内市町村、企業、団体等との共催による大規模イベント「北海道移住・交流フェア2020」の実施 (R2.11.15開催予定)



##### ～北海道らしい関係人口の創出・拡大～

- 東京圏若年者を対象に北海道とのつながりのきっかけを提供する「北海道とつながるカフェ」のオンライン開催 (R2: 8回予定)
- 官民連携による北海道関連イベントでのPR
- YouTubeなどの活用による北海道の魅力の発信



##### ～道内版関係人口の創出・拡大～

- 道内における関係人口創出・拡大のためのWebサイト「地域とつながる。ひみつキッチン」の開設。  
➢オンラインイベントの開催 (R2.10～R3.3: 計7回予定)



##### ～高校生の地域留学～

- 道内指定校3校に高校魅力化コーディネーターを配置し、全国の高校生を地域留学により受け入れ (指定校: 鶴川、斜里、幌加内)

#### 東京圏企業向け

#### ～サテライトオフィス、北海道型ワーケーションの誘致関係～

##### ～北海道型ワーケーションの普及・展開～

- ワーケーションのモデルプランのイメージ動画やリーフレット等による東京圏企業へのPR (Webサイト・個別営業)
- 道内市町村と共同で北海道ならではのワーケーションプランを作成中
- ・北海道型ワーケーションを道内市町村へ普及・展開 (「受入の手引き」作成)



#### 連携した取組

～ニーズ・シーズ調査～

##### ～サテライトオフィス等の誘致～

- ・東京圏企業を対象としたニーズ調査 (R2.8月～12月(予定))
- ・誘致のための東京圏でのセミナー開催 (R2.12月: 1回予定)
- 企業の総務・人事担当者向けのテレワークに関する展示会への出展 (R2.9月: 1回)
- ・企業立地の促進のための各種助成制度



#### ◆ほっかいどう応援研究会

- 参企業・団体 (421社)
- 道ファン子～LINE、Facebook公式アカウント登録者 (約3,500名) ※R2.8月末現在
- ほっかいどう応援セミナー (R2.10開催)

#### ～様々なネットワーク・連携の活用等～



#### ◆北海道移住交流促進協議会

- 移住情報ポータルサイトで暮らしや仕事の情報発信
- 会員数: 149市町村ほか民間団体等



人々の意識・行動の変化を踏まえて  
戦略的なアプローチを展開

主に都市住民 (特に若者)



東京圏企業等



## ～ 未来技術による施策の効率化・効果の最大化 ～

### 主な取組の推進状況

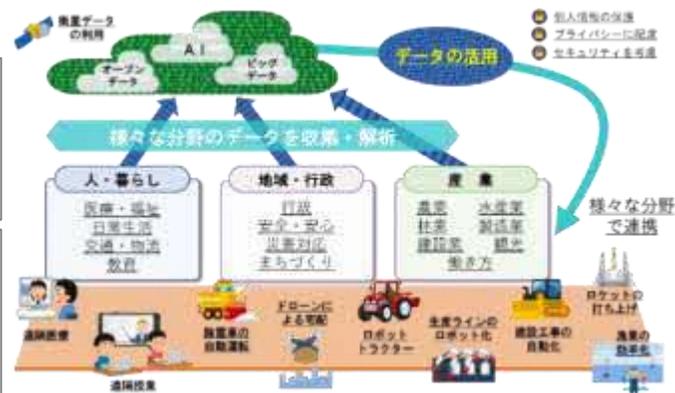
#### 北海道Society5.0構想の推進

##### ～北海道Society5.0推進会議～

ICTやAI、ロボットなどの未来技術を活用し、本道が直面する諸課題を解決・実現する未来社会の姿を示す「**北海道Society5.0構想**」の実現に向けて官民が連携した取組を展開するため、有識者会議を設置（第1回会議～R2.6.11、第2回会議～R2.8.6、第3回会議～R2.10.13）

##### ～北海道Society5.0推進計画～

『未来技術を活用した活力あふれる北海道』の実現に向けて、「暮らし」、「産業」、「行政」、「データ利活用」、「基盤整備」の分野で5つの指針を示すとともに、新型コロナウイルスの影響により明確となったデジタル化の遅れなどに対応するため、新たな計画の策定に向けた協議を開始（R2.10:素案の策定、計画期間:R3～R7）



#### 暮らしの質を高める

##### 医療・福祉分野におけるICT利活用の拡大

- 遠隔医療の実態を把握する調査、ICTを活用した医療情報連携ネットワーク状況調査の実施（R2.8）
- 介護ロボット・ICT機器の普及促進のため、機器を導入する事業所への補助の実施



##### 感染症等からのリスク分散

- 企業等のバックアップ拠点としてのデータセンターやサテライトオフィスの誘致・集積
- リモートワーク等の推進による地方移住等の推進



##### MaaSの実用化に向けた展開

- ・国土交通省の「日本版MaaS推進・支援事業」に選定、十勝をモデル地域として地域住民向けMaaSの実証実験を実施予定（R2.12～R3.2）



#### 価値と魅力を高める

##### 自動運転技術の実用化

- 北海道の実証試験フィールドとしての優位性などを自動運転に関連する企業等へ周知するため自動運転EXPOへ出展（R2.10）
- ・自動運転に関する最新技術の動向や道内企業の技術等保有状況調査の実施



##### スマート農林水産業の展開

- スマート農業技術の導入に向け、利用シーン、データ量等に応じて最適化された情報通信ネットワーク環境整備
- クラウドによる森林情報の共有、レーザー航測やドローンなどによる効率的な資源把握手法の検討
- ICT技術を活用したコンブの漁場把握手法の開発や新たなシステムを用いた共同乾燥施設モデル実証試験



クラウド化による森林情報の共有

##### 効果的な獣害対策

- カメラやセンサーを活用した効率的な野生鳥獣の捕獲やドローンなどの機材を活用した忌避装置による撃退など、未来技術を活用した新たな対策の検証（R1.8～）

#### 人づくりの効果を高める

##### 遠隔授業

- 遠隔授業の配信機能を集中化した拠点から地域の小規模な高校に対し、進学等に対応した教科・科目を計画的かつ継続的に配信



##### 情報活用能力を育む教育の充実

- 「GIGAスクール構想」の実現に向け、道立学校のネットワーク環境や道立特支・中等教育学校（前期課程）児童生徒の1人1台のPCなどを整備



##### 研究開発の推進

- 大学と企業等による事業化に向けた研究の支援
- 産学官連携の事業化に向けた研究開発の支援による新技術、新商品の創出を推進



# 地域戦略の主な取組状況

## ～道と179市町村のスクラムをより一層強化～

地域	主な取組の推進状況
空知地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業経営の省力化や低コストに向けたICT技術に係る各種実証試験の実施、災害時にドローンを活用した現場管理システムの導入・鹿児島と炭鉄港関連地域の小学生を対象としたオンライン学習会・交流会の開催（R2.10予定）（R2.4～）</li> <li>○空知の魅力を発信する映像等を活用したプロモーション事業の実施、空知に関わりのある人や企業等へのPR活動（R2.4～）</li> <li>○札幌近郊5大学との連携によるインターンシップ事業の実施（R2.7～）等</li> </ul>
石狩地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元就職を促す取組として「大学生と札幌圏企業若手社員との交流会」の開催（R3.2予定）、石狩農業及び関連産業への就農・定着を促すセミナーを実施（R2.10）、東京圏からの人材誘致促進のため「いしかり・ライフstyleパンフレット」を制作（R3.2予定）</li> <li>○飲食店や生産者と連携し管内の食材をPRする「いしかりフェア」の開催（R2.5,8,9～12）、体験型観光の動画作成やSNSを活用した積極的なプロモーション活動により、石狩地域の魅力を伝えるプラスワン観光の推進等</li> </ul>
後志地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管内の経営体系に応じたスマート農業のあり方の検証、管内水産物のPR・販売促進のための産地市場見学会（R2.10）を実施</li> <li>○後志製品の管内リゾート地域での流通に関する実証実験の実施（R2.11～）</li> <li>○マウンテンバイクに関する勉強会の開催（R2.9）、動画を活用した国内外へのPRの実施</li> <li>○北海道スタイルに対応した人材マッチングの推進、ShiriBeshi留学の開催（R2.2）等</li> </ul>
胆振地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○胆振管内の周遊を促す取組として、ウポポイ来場者を対象とした「いぶり・ウポポイウェルカムキャンペーン」の実施（R2.7～9）</li> <li>○学生を対象とした企業の現場体験バスツアーの開催（R2.7,10）、高校卒業予定者向け企業紹介DVDの作成、配布（R2.8）</li> <li>○胆振地域の「食と観光」を応援するため、SNSを活用した「#わたしのいぶり」食と観光発信キャンペーンの実施（R2.7～10）</li> <li>○胆振東部地震の被災地域の高校生を対象とした、復興・地域資源フォトカレンダーコンテストの開催（R2.7～10）等</li> </ul>
日高地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者説明会等の支援や農林漁業の新たな担い手確保モデル事業の実施</li> <li>○地域の魅力、産業、暮らしを総合的に発信するHPの作成（ひだか魅力発信・働き手確保室の設置）</li> <li>○アポイ岳ジオパーク関連マップ改訂版の作成、アドベンチャートラベルなどの体験型観光の推進、ひだか地域観光PR動画の作成</li> <li>○民族共生象徴空間の開設を契機とした日高地域への誘客を目的としたPR事業（ひだか・いぶりウェルカムイベント）の実施等</li> </ul>
渡島地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道新幹線を活かした青函広域観光の情報発信、体験観光受入のための現地研修会等、地元食材を活用した新商品の開発</li> <li>○SNSを活用したフォトコンテストの開催（R2.9～11）及び道の駅等での展示会の開催</li> <li>○ロボット技術及びICTを活用したスマート農業の普及拡大、学生や地域住民等を対象に伝統的な古い建築物で道南スギを活用した床張り体験などを行うオープンスクールを実施（R2.8.1）、開発製品及び森林認証材等の普及PR等</li> </ul>
檜山地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道南スギの地域利用拡大に向けた建築関係者と連携したイベント等による一般消費者向けPR（R3.1予定）、地域の水産資源PR・販路開拓及び未利用・低利用水産資源の活用（R2.5～）</li> <li>・地域における看護師確保及び定着を図るため、引き続き「めざせ看護師！檜山塾」を開催（R2.12予定）</li> <li>○観光協会及び宿泊事業者等関係者間の情報共有のために「ひやまの観光をみんなで考える会」を開催（R2.6・10、R3.3予定）等</li> </ul>

# 地域戦略の主な取組状況

## ～道と179市町村のスクラムをより一層強化～

地域	主な取組の推進状況
上川地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○天塩川にゆかりのある松浦武四郎に関する絵本等を制作、HP・FBや、ロゴマーク・QRコードなどを活用したPR活動</li> <li>○食のサポーター等による「食のステップアップ相談会」を実施（R2.11）、「かみかわ食べものがたり」やSNSを活用した情報発信</li> <li>○SGEC-CoC認証取得に係る勉強会や戦略会議の実施、森林認証制度に係る展示会の開催（R2.10～）</li> <li>○業界・企業・行政が連携した人材確保対策の会議開催や、管内の産業や仕事を紹介した高校生及び保護者向け冊子の作成 等</li> </ul>
留萌地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○増毛さくらんぼ応援・収穫体験ツアー（R2.7）、花いっぱいプロジェクトの実施（R2.8～10）、ルルロソPR資材の作成・配布</li> <li>○るもい地域の「食」をまるごと伝える小冊子の作成、地元農水産物を活用した付加価値の高い商品開発やサービス創造を支援</li> <li>○SNSを活用した管内特産品や管内食材等の調理チャレンジ動画の作成（R2.10～）や深川・留萌自動車道全線開通記念スタンプラリー等（R2.7～）のPRを実施、地域で活躍する女性をHP等で紹介（「輝く女性応援ナビ」） 等</li> </ul>
宗谷地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業系大学での就農促進セミナー（道内、東京圏）（R2.11予定）、高校・大学での漁業の魅力PRやコンブ漁業の現地研修を実施</li> <li>○外国人観光客向けのフリーパスの販売等による離島周遊ルートの磨き上げや、Web及びQR等による観光情報の多言語情報発信</li> <li>○振興局HPや「宗谷の『シヨク×タビ』」Facebook、Twitter「てっぺん宗谷」を活用した食と観光の情報発信</li> <li>○市町村と振興局が連携し地域をPRする動画制作、管内の高校生を対象とした企業展示会の開催（R2.11） 等</li> </ul>
オホーツク地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業に対する生産者の理解向上、効果的な技術導入を目的とした「オホーツクスマート農業セミナー」の開催（R3.2予定）</li> <li>・オホーツク産品の販路拡大のため、札幌チ・カ・ホ、どさんこプラザ札幌店での「オホーツクフェア」の開催（R2.12,R3.1）、「食のステップアップ相談会」の実施（R2.11）などオホーツクの食ブランドの向上に向けた取組の実施</li> <li>○管内バス路線のオープンデータ化の更なる推進などシームレスな交通サービス充実にに向けた地域の関係者の連携による取組の実施 等</li> </ul>
十勝地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○十勝産品の販路拡大のため札幌等でのフェアの開催、十勝のワイン産業の強化に向け「ワインアカデミー十勝」の開催（R2.10～）</li> <li>○管外からの観光客を対象に十勝管内のバスが乗り放題になるチケット「VISIT TOKACHI PASS」を発売（R2.8～）</li> <li>○各種イベントにおいて十勝の航空宇宙関連の取組のPR、バイオガス利活用に関する情報交換会の実施（R2.8～）</li> <li>○子ども食堂実践者等によるオンライン座談会の開催（R2.10） 等</li> </ul>
釧路地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道物産展等への出展による根釧牛乳・乳製品等のPR、チーズフェアの開催（R2.11～12）</li> <li>○くしろの魅力発信するPR動画によるメディアプロモーション（R2.7～R3.3）、くしろバーチャルツアーの実施（R2.9～R3.1）（オールくしろ魅力発信協議会）</li> <li>・東京都荒川区との連携によるプロジェクト「インフルエンサー招聘による魅力発信事業」の実施（R2.11、R3.1）</li> </ul>
根室地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども子育てパネル展実施（R2.9）、子育て支援ネットワーク構築に向けた地域毎の意見交換会の開催（R2.11～）</li> <li>○新規就農者のための就農フェアの開催（R2.2）、優良草地の安定確保のモデルとなる地域の設定や事例調査の実施</li> <li>○根室産マイワシ「根室七星」のPRイベントの実施（R2.12～）、サケの安定生産に向けた体制整備支援</li> <li>○「プライムロードひがし北海道」に係る広域観光ルートの形成、フットパス・ロングトレイルの道外PRの実施（R2.9～10） 等</li> </ul>